

せがき

◇施餓鬼法要とは、

生前の強欲や嫉妬などの行いの報いとして、常に餓えに苦しむ世界に堕ちた衆生に飲食を施して救い、その功德を先祖供養のために振り向ける法要です。

あなん

釈迦の十大弟子の一人に阿難という僧侶がいました。

阿難が修行している時、食べ物を口まで持って行くと、その食べ物がすべて炎をとなつて食べることができないという苦しみを抱えた餓鬼がやってきて、「阿難、あなたの命はあと三日ですよ。もし、もっと長寿をお望みならば、私のような餓鬼達の苦難をどうか救ってください。」と行って立ち去りました。阿難は釈迦に相談したところ、餓鬼の苦しみを救うための法要をすすめられ、多くのお弟子さん方が集まってとり行いました。これが施餓鬼会の始まりです。

いっぺんしょうにん

えんぎえ

一遍上人の伝記「一遍上人縁起絵」にも、当時の施食の様子がえがかれています。

時宗総本山遊行寺HPより

<http://www.jishu.or.jp/yugyouji-an-annual-function/yugyouji-segaki>

◇御札の内側(御内符)に書かれているも文字の意味について

じゃくじんよくりょうち

さんぜいっせいふ

いかんはかいせい

いっせいゆいしんそう

「若人欲了知 三世一切仏 応観法界性 一切唯心造」

清も濁もすべては心が造り出すもの。

地獄も極楽も私たちの心の中にあり 心が造り出すものに他なりません。

すべてはあなたの心のあらわれだということです。

ほっかいびょうどうりやく

「法界平等利益」

しんらばんしょう

森羅万象、生きとし生けるものに及びますように、念じているのです。

法界(世の中)の全ての人々(皆様の志すご先祖様や年回の仏様など)に平等に、ご利益が行き渡りますようにという意味です。

御札の内側(御内符)



皆様へお届けする御札は、住職がこのお経を唱えながら作成し、8月19日新善光寺にて厳修するお施餓鬼法要でご回向するものです。